

謹賀新年



オリエンタル ホテル

TEL 33-8111〈代〉

1967あけましておめでとうございます 今年もuCCのコーヒを!

uC
coffee shop



uC上島コーヒショップ本店

さんちかメンズタウン TEL ㉟ - 5677

uCC上島珈琲本社直営

神戸駅前 34-3606~9



*現代ビジネスマンスーツ

ニッケ タリフ スーツ

竹馬産業株式會社

神戸市生田区元町通 3 丁目453

NIKKE TARIFF SUITS

3 MODE & CAR



▶春を呼ぶアイボリーホワイトのスーツ◀北野町の坂道をゆく彼女。白いドレスィな春のスーツは若々しいモード。

婦人服飾

Beniya

KOBE : SANNOMIYA

ベニヤ

三宮センター街 PHONE 39 : 5529
さんちか(レディスタウン) PHONE 39 : 1204

CAR : 真紅のボルシェ365SC 酒井清治
さん(建築デザイナー)の素敵
な車です。

サファリラリー優勝の実力が
日産車に生かされている



兵庫日産自動車

神戸市葺合区小野柄通6丁目4

TEL 23

82



ブルン、ブルン、バリバリ、ブルン。秋空にすさまじい爆音がこだまする。レースを前にレーサーたちが慎重におこなっているエンジンテストの一曲マである。ここは三重県鈴鹿のサーキット。ドライバーたちがあこがれる関西で唯一のレーシングコースだ。エンジンの調子はその日の成績を決める。だからレーサーたちは調整に懸命で、その目は真剣そのもの。その鈴鹿で結成されているKSSC（関西スポーツカークラブ）に婦人部が生まれたのは昨年六月。

現在、部長の星住輝子さ

↑ ツボ部
ある車い
乗るボラ
人
関西ス
カーク
婦

んほか13人の女性レーサーたちはレース開催などにめきめきと腕をあげ、レースに花をそえるだけでなく、スリルとスピードに挑戦している。メンバーは、主婦や学生さんで何よりも車が大好きという。運転歴はいずれも5年以上というベテランばかりで、

「直線コースなら160。は」とけろりといつてのける。しかしその明かい笑顔からは男まさを思わせないやさしい女らしさを感じさせてくれる。

写真は左から山口寿美子（主婦）村田郁子（無職）野辺順子（学生）中谷悦子（学生）星住輝子（主婦）三重県鈴鹿サーキット

去る十一月二十日三重県鈴鹿サーキット
場で、全日本レーシング・ドライバース選手権
レース大会が行なわれた。今や車はわれわれの
生活にとって欠かせない存在。日本はアメリカ、西
ドイツについて世界第三位の自動車生産国だ。そこ
で神戸子編集部では自動車レースが開催される鈴鹿
サーキットへドライブを試み、車の魅力をさぐってみた。
さいわいに作家の陳舜臣氏ご夫妻の同行を得て、十九日
早朝神戸を出発、鈴鹿へむかった。

スピードに命をかけて挑む！

鈴鹿サーキットは昭和三十八年につくられ
た。百三十三万平方メートルの広大な敷地の
なかに、蛇のようにウネリ、曲ってレース・ラ
インが延びている。レース・コースは全長六・〇
〇四キロ。こゝで十一月二十日にKSCC（関西ス
ポーツカークラブ）、NAC（日本オートクラブ）主催
の全日本レーシングドライバース選手権レース大会が行な
われる。ツーリングカー、スポーツカー、あわせて七十八
台が参加。レディスカップレースが間に花をそえる。



KOBE → SUZUKA ROUTE

☆1966全日本レーシングドライバー選手権レース大会最終戦
カメラ／浜岡 収・赤松慶三郎



轟音をのこして直線コースをつっぱしる——ゼッケン7 高橋利昭選手



スタンドをうずめた満員の観衆も思わず笑う——レース直前のユーモラスなひととき



早くもはじまる激戦〈第一カーブにて〉

レース当日、風は冷たいが好天に恵まれたサーキット場では午前十時からツーリンググループのレースがはじまる。
選手紹介がおこなわれ、各選手は定められたスタート位置に立った。
スタートとともに選手は一斉に愛車



一歩を争ってとどろく車・車



スタートの合図と同時にいっせいに発車にかかる選手たち



チェッカー・フラッグをうけるドライバー

めがけて駆けよる。すばやく車にのりこんでエンジンをかけ、安全ベルトを締める。二分以内に発車しなければ失格だ。(ル・マン方式)

スタンドの観衆が息をのむ一瞬。次つぎに快音をのこして車がピットをとびだしてゆく……。



抜くか／抜かれるか！



ブーン、ブーンと轟音が鈴鹿の山やまにこだまする。ピット上でスタートを觀戦したわれわれは、スタンド裏をぬけ、第一カーブへ急ぐ。ここはスタンド前の直線コースをフルスピードで突っばした車を、どのようにセーブしてまわるか、ドライバ―の腕の見せ場。アクセルとブレーキを同時にかけられた車体はガタガタと揺れる。

第一カーブでスピンする車があいつぐ。コース上でスピンした車は、ドライバ―が車につまめた部品で自分の手で修理したとき再びレースを続けられる。レース開始三十分をすぎるところコースに残っている車は約半数だ。

「レースに出場して冷静でいられれば一人前だ。とはよく言われることでだけれど、とても……」と語るのはKSC C婦人部長星住輝子さん。さらに、「スピンしたときはコースに戻るのが格好がわるくて隠れてしまいたい」という。だが、彼女は二十日のレディースカップレースで二位に入賞。実力の程を示した。「車が好きだから一生懸命やります。結婚の相手も車に理解のある人がいいわ。でも、車ののりだしてから他のことに無駄づかいをしなくなりました」と語るのは村田郁子選手。しかし、レースには常に危険がある。コースで一番の難所はヘアピンカーブ。ここはドライバ―が細心の注意をはらう。それだけに事故は少ない。ここに陣取っているレースファンはカーマニ

優勝の予想をくつがえし、リタイアしたフォードコブラ4700cc

世界の車があつまるレース場〈アルファ・ロメオ〉





アが多い。ヘアピンでドライバーの技術が発揮される、そこが魅力なのだ。霜枯れした芝の上に思い思いに腰を下ろして熱心に観戦している彼らはいったきも目を離さない。

ドライバーの細かいテクニクはよく分らないが、レース展開に魅せられて観戦する人にはスプーンや第一カーブが面白い。第一カーブのあたりはススキが生い茂って、その間からコース上に展開される白熱のレースを観戦するのはチョットした気分だ。

午后から行なわれたスポーツカーのグループ。下馬評ではフォードコブラが200ccのスケールで優勝は確定、続いてはロータスエラン2500cc。だが、レース開始直後にまずロータスエランが車体で大破、コブラも十三周目でリタイア。レースに優勝するためにはスピードはもちろんだが、まず完走しなければ話にならない。

「私が車の魅力にとりつかれたのは若いときですよ。戦争で中断されたのが最近またのりだした。鈴鹿のレースには十二回出場しています。ここは一番走りやすい。はじめて出たのは一昨年スピードは富士の方がよく出ますね。今のっているのはフェアレディだ。レースの魅力はスピードとスリル。レースで走るより町なかで走る方がよっぽど危険だろう」と語るのは山口良夫選手(50)。レーサーが口をそろえて言った言葉でもあった。

KSCC所属スポーツカーの部で六位入賞の山口良夫選手

イギリスの名車ロータスエランに乗る高野ルイ選手



1500CCの常識を破った 6人乗り高速ツーリングサルーン

●OHC 1500cc ●78馬力 ●連続最高時速 150キロ

ルーチェ

¥595,000

デラックス仕様 ¥695,000

スーパードライブ付は8万円増



株式
会社

マツダオート兵庫

●ご一報次第カタログ掲載

本社 神戸新開地三角公園南200米 TEL 神戸 代表 56-5061

全日本レーシングドライバースelectionレース

観戦記

陳舜臣



△右はヘヤービンで観戦する陳舜臣氏夫妻△

クルマ。そしてそれにつながるスピードは、たしかに

現代的なものである。私が鈴鹿サーキットへ出かける気になったのは、現代の若々しい風にあふれてみようと思ったからだ。また一つには、家内の女学校時代の友人星住輝子さんが、女流レーサーとして出場するので、そ

の応援も兼ねていた。

午前のツーリングカーのレースを私たちは第二カーブのところまで観戦した。最も長い直線コースから、比較的ゆるやかな第一カーブのすぐあと、直角に近い第二カーブにさしかかる。難所である。

たいていの車は、最短距離を通ろうとして、内側の線すれすれに走る。このコーナリングが、勝敗を決する大きなポイントなのだ。

いまにもはみ出しそうになりながら、うまく曲がってしまふ。そのたびに、はらはらさせられた。とくに数台の車が、そこでつながるようにコースを争うとき、思わず手に汗を握る。手のひらの汗のかわくいとまがない。

カーブを切りそこなつて、内がわへとびこんだ車があった。しかし、その車はまたくるとむきをかえ、再びコースに戻つて、レースを続行する。第一カーブをまわつたまま、第二へ曲がれずに柵につっこむ車もあった。柵には防禦袋がならべてあつて、車は数個の袋をはじきとばした。壮烈なものである。

内コースを争つて二台の車がつれ合つたまま、どちらも曲がれずに、ぶつかり合つて外へとび出した。一台はすぐにコースに戻つた。ドアがこわれているが、それでも爆音を残して疾走しはじめた。もう一台のほうは、レース続行不能となつた。事故車続出である。

レースの車は内側に、鉄パイプで嚴重な枠をとりつけ選手はヘルメットをかぶり、ベルトをつけているので、めつたなことでは怪我をすることはないそうだ。それでも富士では死者が出ているので、事故のたびに、ひやりとする。

私はレースを観戦すると同時に、見物客も観察してみた。彼らはそうしたスリルを味わいにきているだけだろうか？

人間の最も充実した姿は、ある一点にすべてが集中されたときにあらわれる。凝縮こそが、生命の燃焼なのだ。二時間のレースでは、選手は孤独のまま、緊張の連続で一瞬の弛緩も許されない。精神の集中によって生命は凝縮され、まばゆい燃焼をおこす。

レースは戦いである。斗争には醜い面もあるだろうが、勝つことに全力をうちこんで、真剣に立ちむかうとき、そこに美がうまれ、美は感動を呼ぶ。疾駆する車に

こめられた気迫が、観客を酔わせるようであつた。午後から、いよいよ女流レーサーによって争われるレディスカップ・レースである。

星住さんが出るので、こんどはピットで観戦する。彼女はスタートがややおくれた。スタート直前までボンネットをあけて調べていたようだったから、エンジンが不調だったのかもしれない。それでも首位を追つて、みごとに難コースを十周完

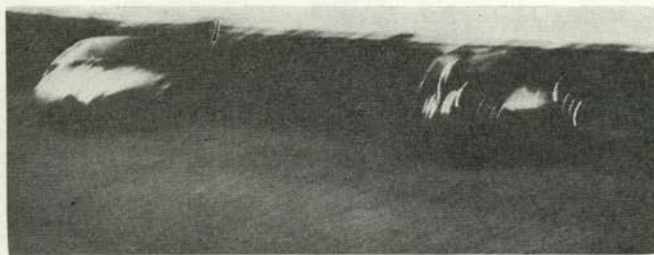
走し、三位を大きく離して二位にはいつた。

帰つてきた星住さんの顔は紅潮していた。いつも見ている彼女の美しい顔に、別の美しさを発見したように思つた。小学校六年生のお嬢さんがそばへ寄つたとき、彼女の表情はすぐに母親のそれに戻つたようである。

ピットのあたりにいると、数十台のクルマがエンジン調整のためブワーン、グワーンとすさまじい音をあげている。家内などは綿で

耳に栓をしていた。スピード狂の別名をオトキチというが、ここでは音がスピードのシンボルなのであろう。最後はスポーツカー・レース。気筒容積一三〇〇cc以下のCS1クラス約二十台と一三〇〇cc以上のCS2クラス約十台が、同時に走る。

下馬評によれば、首位と二位はきまつたようなものだということだつた。ゼッケン二八のフォードコブラは四七〇〇ccという怪物である。二七のロータス・エランは



レースを競うスピードに近い200キロ

世界各地のレースで圧倒的に優秀な成績をあげたクルマである。

だが、レースは走ってみなければわからないものだ。予想通り、不気味な爆音をあげてトップを切っていた怪物コブラは、二十周あたりから、不調のため脱落してピット入りした。それよりも早くロータス・エランも第十七カーブのあたりでコースをはずれ、崖に車をぶつけて大破した。

知り合いの矢吹選手は、マイベースで五、六位を維持していたが、前記両強豪の脱落、さらにはトップグループの車にタイヤパンクがあったりして、ついに二位にはいった。首位の車がCS2クラスだから、矢吹選手は総合二位、CS1クラスでは首位ということになる。

余談になるが、明治二十五年に単騎シベリアを横断した福島安正大尉（のちの大將）は、「マラソンごときは車夫馬丁のすることアル」と失言して物議をかもした。スポーツ関係者はアタマにきて、体を鍛えるのがわるいのか、馬にのってトコトコ走っても体位向上にならない、などと反駁したようである。

私は福島大尉の言葉をつぎのように解釈する。——ペルリンを出発し、たった一人でシベリアを横断するには前もって地図をくわしく調べ、地形・気象を研究し、コースをえらび、自分の体調、馬のコンディション、そのほかいろいろなことに注意しなければならない。そうした科学的、頭脳の作業を含めた綜合力が、成否のポイントとなる。それを欠いたマラソンをつまらないといったのだから。

マラソンに限らず、どんな競技にもテクニクがあつて、メンタルな要素が全くないわけではない。福島大尉



矢吹選手からレース展開をきく陳舜臣氏夫妻

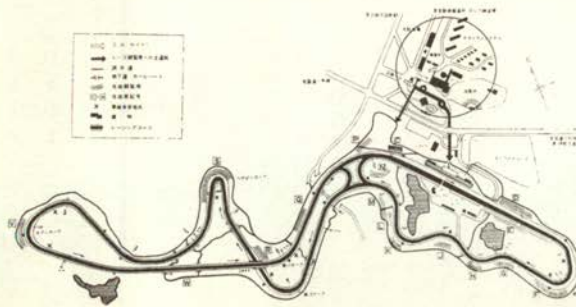
の認識不足である。

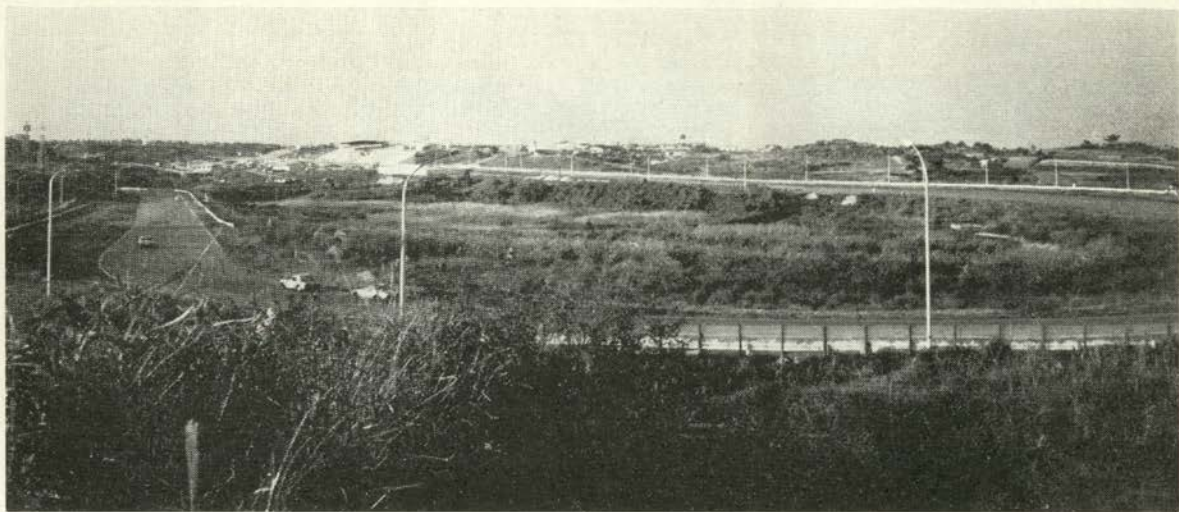
レースを観戦しているとき、私はふと福島大尉のシベリア横断を思い出した。七十数年前のシベリア横断には、むろんカー・レースのようなスピードと爆音はなかった。だが似た点がある。もし福島大尉が生きておれば、この競技をけなしたりしないだろう。

科学的な知識や技術、頭脳、体力などの総合的な力で争われるこのようなレースは、近代人のセンスにマッチするから、これからますます盛んになるにちがいない。

△作家▽

*鈴鹿サーキット場内地図





＜鈴鹿サーキットの第1カーブから正面スタンドを望む＞

KOBE—SUZUKA ROUTE DRIVE GUIDE

●神戸↓鈴鹿サーキット↓ドライブガイド

六甲連山はまだスッポリと厚い雲におおわれていた。午前六時半のコウベの街はドンヨクに夜明け前のひとなをむきまわっていた。

朝もやが濃くたれこめた神戸の街を、われわれをのせた日野自動車提供のコンテッサ1300cc二台と、同行の作家陳舜臣氏をのせた白いMGは車を並べて鈴鹿サーキットをめざして出発した。

早朝の国道一号線をゆきかうのはトラク便がほとんどである。第二阪神国道を走ってすぐそばに大きな車体が並ぶ。コンテッサの座席にすわった目線の高さにトラククの大きなタイヤが迫ってきて、思わずその下にすいこまれてゆきそうな危機感におそわれる。

午前七時半をすぎるところから、だんだんと乗用車の数が増えはじめ、見るまに道路が車でうずまってゆく。午前八時半、名神高速道路路西宮インター・チェンジに到着。チケットを受取って名神ハイウェイにのり入れる。走行四万キロを軽くこえたコンテッサは快調なスピードとはいえず、登坂線を制限スピードを守ってすすむ。隣の追抜き線をブ・ブツと短かく警笛を残して白いMGがスピードをあげて、消えた。

名神高速道路は日本道路公団によってつくられた。日本でも有数のハイウェイである。はじめの目的は産業道路として東海工業地帯と阪神工業地帯をむすび、産業の発展に大きく貢献しようというものだった。しかし、実際には有料八西宮—栗東間六百円Vということもあってか、このハイウェイを走るトラクはほとんどみられない。現在では、観光道路化してしまっている。マフラーをはずしたスポーツ・カーが横をすつとばしてゆく光景にもささいささいぶつつかる。

トヨペット クラウン スーパーデラックス

謹賀新年



豪華な最高級車が誕生しました。

フロント・グリルは一新され、パワーウインドウやデフォグガーなど、ぜいたくな装備をふんだんにそなえています。

スーパー・デラックス… ¥ 1,128,000
(6気筒2000cc)

兵庫トヨタ自動車株式会社

本社 神戸市長田交差点 56-5051
 尼崎営業所 阪神国道玉江橋東 481-9501
 西宮営業所 阪神国道北今津東 6-3571
 東神戸営業所 阪神国道大石川東 86-5471
 神戸営業所 国鉄兵庫駅南50米 68-6781
 姫路営業所 神姫国道市川橋東 23-2781
 豊岡販売所 豊岡市高雄通102 豊岡4174

トヨペット コロナ



自動車旅行時代の

本格的ファミリー・カー

神戸トヨペット

本社 神戸市兵庫区水本通2丁目8 (新聞地蔵堂300メートル西山側) 神戸(56) 5001-9
 東営業所 神戸市東灘区本庄町青木松本 神戸(41) 8151-2
 尼崎営業所 尼崎市大庄川田町1-1 大阪(416) 5151-4
 伊丹営業所 伊丹市昆陽一ツ橋1-9 伊丹(72) 0501-3
 姫路営業所 姫路市花田町一本松字赤丁田14-8 姫路(24) 2261-4
 西宮営業所 西宮市宮川町1-2-8 西宮(34) 4132

Akira Beauty Shop



美容室

あきら

西野 明

電話予約制

三宮本通り TEL (33) 4461・6458



*神戸っ子の
センスを生かす
*KEIの店

*服飾

KEIの店

生田区三宮町3丁目57
大丸前服部宝生眼鏡店2階
TEL (33) 7550



＜夢があふれる子供の遊園地 右はぞうさん列車＞



午前八時半すぎ、京都郊外、山崎の地にでる。ここは桂川・木津川・宇治川と三本の川が合流して淀川となる合流点であり、山合いの峡谷という地形とあいまってむかしから霧の名所として名高いところだ。この日もちょうど霧がうす紙をはがすように、生駒の山やまをぼかしながら流れていた。

途中、大津のレスト・ハウスで休憩をとり、熱いコーヒーに冷えた身体をあたためる。レスト・ハウスから眼下に眺める琵琶湖は暗灰色のモヤの底に沈んでいた。大学のヨット部の練習船なのか六つ、七つとほの白く浮かんだヨットの帆がゆれていた。

午前九時二十分、栗東インターチェンジに到着。名神ハイウェイに別れを告げて鈴鹿・伊勢方面に出る。栗東から四日市方面にむけて国道一号線を直進する。

栗東から石部のあたりにかけて、神戸では見かけることもなくなつた月見草の花がカレンな黄色をつけていた。やがて、車は近江茶の産地、近江にちかずき車窓の左右にも茶畑が濃い緑をしたたらせていた。

刈りとられた稲田が薄い初冬の日ざしを浴び、ボツンと一本、柿の木の赤い色が目にしみる。午前十時、コンテッサは鈴鹿峠にさしかかり道路の両側には山がせまる。東の箱根峠と並んでむかしから旅人の難所として有名なところだ。今でも冬にはよく凍結し、チェーンの用意が必要となる。

峠をこえて約三十分。車のむこうに目的地「夢と科学のテクニランド」の看板が目につく。いよいよ「鈴鹿サーキット」だ。そこからさらに四キロ進んだところにSUZUKA CIRCUITがわれわれを待っていた。鈴鹿サーキットは神戸から車で三時間の地にある。

週末のドライブ旅行にはちょうどよい。名神ハイウェイをぬけてドライブ気分を満喫しながら、鈴鹿サーキットに着く。宿泊する人はテクニランド・ホテルに荷物を置いて一日ゆっくりとサーキット場を楽しむのもいいだろう。レースのないときは一般に開放されている。(練



〈写真 左はゆったりと広がるテクニランドホテル 中はテクニランド・ホテル入口 右は少年のあこがれモトクロス・レース場〉

習一時間千七百円)ここで思いきりスピードを楽しんで自分の腕をためしてみるのも面白い。

車の運転免許をもたない人にはミニカー、ゴーカートなどが人気。(料金は星ひとつ三十円)。

また、このホテルは思わすき違いかと疑いたくなる良心的な料金。一人当り四百五十円もあれば泊れる。山荘風・トレイラーハウス式・モーター風・北欧風と好みのホテルを選べる。室内も冷暖房つき二段ベッドが二組あり一室に四人は泊れる。食事はグラントレストランで定食二百円、二五〇円。味もよくボリュームもある。また内部にスーパーマーケットがあり部屋で自炊もできるし用具は無料で貸出してくれる。但しホテルはセルフサービスである。団体で泊るときは、五〇〇人収容のホールが利用できる。

家族ずれには「お伽ぎの国」「子供の国」の施設もあり、安心して小さいお子さんとゆっくり楽しめる。

中・高校生にはエンジン教室、サーキット教室が開かれて「生きた教材」で楽しく学べるのも嬉しい。

なかでも一番嬉しいのは緑の空間が広々とひろがっていることだ。一日ここでゆっくりと自然に親しんで帰ることも、おおいにわれわれの心をいやしてくれる。

＊鈴鹿へのドライブ・コース

三宮→第二阪神国道→名神西宮インターチェンジから名神ハイウェイ→栗東インターチェンジを伊勢・鈴鹿方面へ→国道一号線を四日市方面へ直進→庄野橋道標を右折→鈴鹿サーキット着

＊鈴鹿への電車あんない

三宮(阪神・国鉄・阪急)→大坂→近鉄名古屋線白子または平田町駅下車→鈴鹿サーキット行直通バス

＊ニューヨーク通信

どんな顔でも歩いてる

ニューヨーク

元永定正・中辻悦子〈絵と文〉

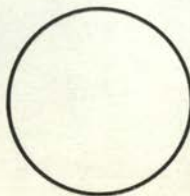
神戸っ子の皆さん、お元気ですか？

出発のときには、色々お世話になって、ほんとうにありがとうございました。伊丹の空港では花束をたくさんもらって、飛行機のなかで隣りのおじいさんから、新婚さんと間違えられました。途中ホノルル経由で、ニューヨークへは無事に到着いたしました。

飛行機も快適だったし、絵葉書通りのワイキキの浜辺は、日本では想像できないほど、自由でのびのびしたパカンスの地です。早速、ムームーに着替えてハワイっ子になりました。ヤシの葉影からは、波乗りやヨットが見えて、美しい景色でした。女の子がとても美しく、ビキニのハダシで町を闊歩している姿などは、まったく平和な感じ。時間の関係で、ハワイでは一泊の後、ニューヨークへ向いました。飛行機を降りるたびに、時間が変わっているの、最初の一週間ほどは、昼夜の区別がつかず、身体の不調も変な具合。最近になって、やっと朝に

なると目が覚めるようになってきたところです。

ニューヨークは、とてもきたない町です。でも、そのエネルギー感、スケールの大きさは驚くばかり。十日間ほど、ダウン・タウンのホテルで過ごした後、今のアパートに移りました。ニュー YORK の団地です。三十階建ての二十八階なので、見晴しは、まずまず。新しいので、きれいなことだけがとりえです。毎日、ビルの林の中をうろうろ歩きまわっています。やっとミッド・タウンの地理が、わかりかけてきました。画廊を廻ったり美術館をみたり。今のところは、まだウィンドウ・ショッピングがとても楽しいです。チョットとりすました五番街から、アヂソン・アヴェニューに移ると、グッとしゃれたお店がズラリ。今はまだみるだけで、充分満足しています。それに、道行く人々の顔が、ノッペリした日本人に比べると、表情が豊かなせいでしょいか。とても目について仕方ありません。きれいな人や、おもしろい顔



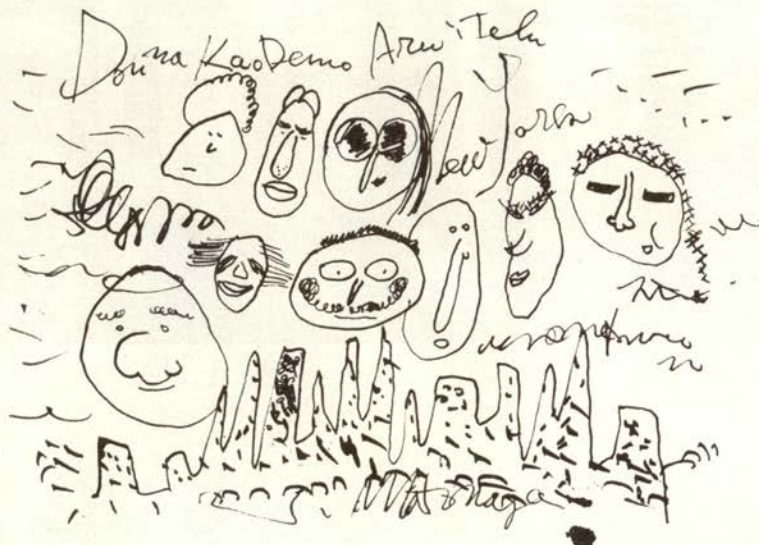
の人や、すごい感じの女の人や、グッとイカス中年の男性や、キョロキョロしてばかりいるので、大変疲れます。

こちらについて二日目に、日本の新しい絵画と彫刻展が、ニューヨークの近代美術館で開かれました。とても盛大なもので、三千人以上も色々な人たちが集まったようです。その帰りに、今から思えば場所がどこなのか、全然わかりませんが、"オンデイス"というゴーゴの店へ行きました。パンチのきいたエレキで、早速踊ってききましたが、その間中、ときどき、神戸かニューヨークか、どちらに

いるのかわからない錯覚に陥入りました。神戸でもよくやったので、ニューヨークの実感が、わかなかったのかも知れません。でも、やはり気がつく、まわりは知らない顔ばかりでした。ニューヨークは、そろそろ寒くなってきました。温度は全部ハカッ氏Vなので、なかなか分りませんが、今日など、三十四度なので、ほとんど〇度に近いのではないでしょうか。日本はいかがですか？

△悦子V

相変わらず、毎日ご多忙ですか？その節は、大変お世話になりました。英語には、やっぱり、まだまだ弱いですが、ビルの高さや空気には、チョットなれてきた感じですよ。ワイキキでは波のりをやりました。カッコイイ私の写真を、たくさんとりました……といたいところですよ



が、ゼンゼン海の中にチンボツしているところばかりでしょう。一時間ぐらいでは、無理なことがわかりました。水はモノスゴクきれいでした。チョット、ニューヨークの街になったといっても、文字通りなので、まだ仕事をするとところまでは、行きません。これから、アトリエをさがしたり、材料を買ったり、もう少し時間がかかりそうです。材料は、こちら

は高いです。何か物を買っても、すぐ日本のお金に換算する中は、駄目だそうですが、仕方ありません。パスは二十七セントで、七十二円。エスキースの紙や、

絵の具を少し買えば、五十ドル一万八千円というぐあい。一ドルが一〇〇円感覚だとチョウドいいのです。この間、ポールジェンキンスの個展のオープニングに行きました。私の個展を開いたことのあるマサージャックソン画廊でしたが、一階から四階まである画廊全部に、人が一ぱいで入りきれず、寒い道路まであふれたのには、驚きました。日本人にも、たくさん会いました。岡田謙三猪熊弦一郎、川端実、堂本尚郎さんなどの絵かきさんがやはり多いです。今月末か来月は少し、ワシントンへ行こうかと思っています。ニューヨークは、まだよく分りません。決して綺麗な街ではありませんが、バイタリティを、私も感じています。ではお元気で、ミナサンによろしく。

△定正V



★グループでスコール! <1月>

K.D.C. <神戸ドライブクラブ>

X君「スカイサントリーでK.D.C.の会合を開くことになったのは気楽に野郎が集まれるからですよ。」Y君「イヤー! 眺めはいいしねえ。なごやかだし、女の子も眺められるしナ」Z君「ちよいしいいよ。ほんじゃ青年のビールでスコール! と行くか」
All member「スコール!」

飲みほうだい<サントリービール>+食べほうだい! <北欧風ヴァイキング料理> 1,000円<飲食税 100円別>



なごやかな
ムード
すばらしい
眺望!

ビヤレストラン 三宮交通センタービル9階 TEL 3705-6
スカイサントリー

賀 正

1 9 6 7

今年もどうぞよろしく
 お願いします



あらゆる電化製品の店

元 町 電 機

元町6丁目 TEL (35) 0081(代表)~4



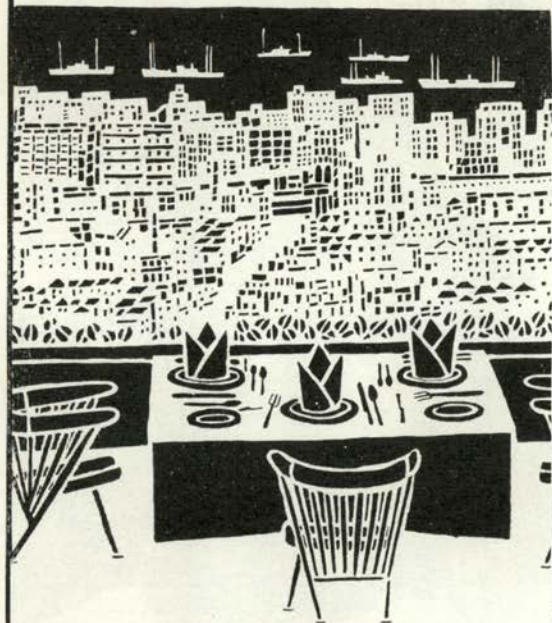
あけましておめでとうございます
 貸衣裳でおなじみのつるや
 では春の新作衣裳展示会
 をオリエンタルホテル
 2階ホールで正月
 29日に催します
 ぜひお越し
 下さい



つるや貸衣裳店

本 店 神戸市生田区三宮町3丁目18 TEL ☎ 0360・7786
 出張所 神戸市生田区中山手通6丁目勤労会館内 TEL ☎ 7975~8
 西脇店 西脇市和布町税務署前 TEL (西脇) 4114
 そごう店 神戸三宮・そごう・4階 TEL ☎ 4181

賀正



神戸北野クラブ
レストラン コラル キタノ
TEL (23) 2251

S.I.

謹賀新年

宝石・貴金属・時計のおもとめは
さんちかハイ・モードタウン仲庭で
明るいショッピングをお楽しみ下さい



仲庭

さんちかタウン (39) 4593
梅田新道 堂ビル北(364)8121代表
桜橋 毎日新聞社前(341)0412
新大阪ステーションストア
大阪ロイヤルホテルセイコーショップ